

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



未来を変える健康習慣の促進

第17回宇城市健康フェアを開催

3月8日・9日にイオンモール宇城で健康イベント「宇城市健康フェア～健康習慣で未来を変える～」を開催しました。

日ごろから健康に興味がある人だけでなく、若い世代や健康への関心が薄い人たちへも健康について考えるきっかけを提供することを目的に開催しています。

会場では、血糖値や骨密度、血管年齢や肌質年齢といった体の健康状態の測定や医師による医療相談などを実施。

また、ベジメータ[®]を使った野菜摂取量の測定や市内の保育園の園児たちが描いたベジアート(野菜の絵)の展示なども行いました。

来場者からは「普段測定できない項目を測定でき、自分の体の状態を知ることができた」などの声が聞かれました。



1 会場には、体の状態を知ることができるさまざまな計測ブースが設けられた 2 普段測定する機会がない血管年齢を測定 3 熊本南病院の医師による医療相談会 4 ベジメータ[®]で野菜摂取量を測る来場者 5 宇城市内の保育園に通う園児たちが描いたベジアートの展示



生徒たちへ講演する今崎さん

生徒が将来を考えるきっかけに

米Google本社で働くエンジニアが母校で講演

3月3日、松橋中学校で今崎憲児^{いまさきけんじ}さんによる講演が行われました。世界で活躍している卒業生の話を聞くことで、生徒自身の進路について考えを深めてもらおうと同校が主催したもの。

今崎さんは、自身の経験や職場の様子、AI技術について紹介しました。

生徒たちからは「海外に興味を持った」、「夢のために努力したい」などの声が聞かれ、今崎さんの世界観に目を輝かせていました。

未来へつなぐ学びと誇り

三角小6年の児童たちが三角西港でガイド役に

2月28日、三角西港で三角小6年の児童たちが三角西港ガイドを行いました。同小6年の児童たちが1年かけて三角西港を学び、その成果を発表するもので、同小の1年～5年の児童のほか、地域住民らも参加しました。

6年の児童たちは、港内8カ所に分かれ、クイズ形式で歴史や文化を紹介。説明を受けた下級生たちからは「西港の歴史を誇りに思っている」などの感想が聞かれました。



下級生たちへクイズを出す6年の児童たち(写真左)



早口言葉ならぬ早手話で会場を盛り上げた宇城デフスターズ

手話に触れ、理解を深める日

耳の日ふれあい2025が開催

3月1日、イオンモール宇城で耳の日ふれあい2025が開催されました。3月3日の「耳の日」に合わせ、手話への理解を深めることを目的に、耳の日ふれあい実行委員会が主催したもの。

ろう者による演劇や手話での意見発表などが行われ、手話の重要性が訴えられました。

県ろう協中央支部長の猿渡一徳^{さるわたりかずのり}さんは「同じ聴覚障がい者の力になれるよう手話の普及活動を続けていきます」と話しました。

ごみ減量化のために

宇城市民全体分別収集を試験実施

3月1日、宇城市役所北側駐車場で「宇城市民全体分別収集」を行いました。

これは、地区ごとに実施している資源ごみの分別収集だけでは、日時や場所が限られてしまうことから、市民の資源ごみの搬出機会を増やし、資源物のリサイクル量を増やすため、宇城市一般廃棄物委託処理業組合の協力により、市が試験的に実施したもの。

次回の実施は決まり次第、お知らせします。



会場には、多くの人たちが資源ごみを搬入した